

日本職業リハビリテーション学会第41回（埼玉）大会 開催要項（演題募集）

テーマ「エクスクルージョンを見つめてインクルージョンを問う

—限定のない職業世界の実現—

会期：2013年8月29日（木）、30日（金）

会場：埼玉県立大学（埼玉県越谷市三野宮820）

第41回大会を2013年8月29日（木）・30日（金）に、埼玉県立大学（埼玉県越谷市）を会場として開催します。テーマは、「エクスクルージョンを見つめて、インクルージョンを問う - 限定のない職業世界の実現 -」です。インクルーシブな働き方に関する実践、研究は、ここ数年の職業リハ学会においても重視されていますが、その議論を踏まえつつ、さらに深めていきたいと考えています。その際、職業場面におけるインクルージョンを的確に捉えるためには、改めてエクスクルージョン（排除）を見つめ直していくことを検討の起点におきました。エクスクルージョンの結果としての「限定」とは、職業リハの対象における「限定」に留まらず、事業主支援における中小企業への支援拡大、多様な働き方の追究等、まさに「限定」しない職業世界の構築を展望することで、インクルージョンの実現へとつなげていきたいと思えます。

基調講演は、炭谷茂氏（社会福祉法人恩賜財団済生会理事長）にお願いする他、テーマを深める当事者参加のシンポジウムを企画しています。ポスター発表と口頭発表も広い会場の環境を生かして、多くのエントリーに対応していきたいと考えています。さらには、従来がない「参加型」のワークショップを設定する他、自主ワークショップの企画も募っていきます。障害者虐待禁止法、障害者雇用に関する今後の政策展望、職業リハにおける就労意欲の喚起、職業生活における生活支援のあり方、障害者雇用労働市場の分析、中小企業支援のあり方等のキーワードを手がかりに、プロセスを重視した議論の場になればと考えています。

会場となる埼玉県立大学は、埼玉県越谷市にある保健医療福祉学部単独の大学です（東武スカイツリーライン「せんげん台駅」下車。バス7分）。越谷市は、日本一暑い埼玉県熊谷市と並んで猛暑ランキングの上位を占める地域ですが、その暑さを超える熱い議論の場になればと願っています。2012年にオープンした東京スカイツリーも大学から展望できますし、せんげん台駅から35分です。

大会の前後のお楽しみに加えていただくことも一興かと思えます。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

第41回大会長 朝日雅也（埼玉県立大学）

《開催スケジュール》

月日	時刻	内容	
8月29日(木)	9:30～10:00	研修基礎講座受付	
	10:00～12:00	研修基礎講座（2会場） 講座A「発達障害者の就労支援」 講座B「研究発表のノウハウ」	
	12:00～13:00	大会受付 昼食	
	13:00～13:10	開会式	
	13:10～14:10	基調講演 社会福祉法人恩賜財団済生会理事長 炭谷 茂 氏	
	14:30～16:10	シンポジウム テーマ：「見えない“壁”を乗り越えて－発達障害・精神障害のある人や就労に困難のある若者の支援から考える－」 コーディネーター：眞保 智子氏（高崎健康福祉大学）	
	16:20～17:30	会員総会	
	18:00～20:00	懇親会（学生食堂）	
8月30日（金）	9:00～9:30	受付	
	9:30～12:30	口頭発表	ポスター発表
	12:30～13:30	昼食	
	13:30～15:30	課題別ワークショップ 1 障害者虐待防止法 2 障害者雇用・就労に関する政策 3 職業準備性を問い直す 4 就労支援の中身を問う －職場実習、就職後のサポート体制－ 5 中小企業支援	自主ワークショップ 3件まで募集します。
	15:40～16:00	閉会式	

《研修基礎講座のご案内》

職業リハビリテーションの基礎的な研修を大会開催前に実施します。公開講座になっていますので、学会員以外でも受講できます。学会員は無料ですが、学科員以外は1,500円の受講料がかかります。当日参加も可能です。

講座A 発達障害者の就労支援－発達障害専門の就労移行支援事業所の開設から現状の課題まで－（仮題）

講師：就労移行支援事業所クロスジョブ KOBE 理事長・所長 古川 直樹氏

講座B 研究発表のノウハウ－研究発表初心者のための課題のを見つけ方から発表まで－（仮題）
講師：交渉中

《大会企画内容のご案内》

1 基調講演

社会福祉法人恩賜財団済生会理事長 炭谷 茂 氏

2 シンポジウム

テーマ：「見えない“壁”を乗り越えて－発達障害・精神障害のある人や就労に困難のある若者の支援から考える－」

シンポジスト：1. 若者・ニート関係者、2. 支援機関・発達障害関係者、3. 精神障害者を雇用する企業の人事担当者、4. そこに就労した精神障害者当事者（交渉中）

コーディネーター：眞保 智子氏（高崎健康福祉大学）

3 課題別ワークショップ

5つの課題ごとに助言者からの話題提供の後、小人数のグループに分かれて意見交換を行い、その成果を発表することを基本構成とする。課題は《開催スケジュール》を参照して下さい。

《研究・実践発表》

1 口頭発表

2 ポスター発表

3 自主ワークショップ

次ページの《研究・実践発表の募集》を参照のこと

《大会参加、宿泊申し込みのご案内》

4月以降大会ホームページで発表します。宿泊先について、実行委員会では斡旋の予定はありません。

《研究・実践発表の募集》

1. 研究・実践発表者の資格および発表内容

①筆頭発表者及び連名発表者は2013年5月10日（金）現在で日本職業リハビリテーション学会正会員の方に限ります。正会員で2013年度年会費未納の方は2013年5月10日（金）までに納入を完了してください（会費未納の場合は、大会での発表資格を失う可能性が生じます）。

正会員でない方の場合は、学会ホームページから入会申し込みの手続きができます。

②筆頭発表者は、研究発表申し込みを2013年5月20日（月）までに行ってください。

③発表内容は、職業リハビリテーションに関する未発表のものとなります。また、発表当日に35歳以下の発表者は日本職業リハビリテーション学会大会奨励賞の対象とします。奨励賞には、「調査・研究部門」と「実践部門」の2つの部門がありますので、発表申込の際に部門を選んでください。

2. 留意事項

①研究・実践発表は1人1題に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。

②同一グループによる連続発表は3題までとし、発表申込書の該当欄に連続発表する標題を記入して下さい。

③発表形式はポスター発表と口頭発表の2形式があります。ご希望の形式で申し込みをいただきますが、変更をお願いする場合がありますので、ご了解をお願いします。

④申し込みにあたっては、学会研究倫理指針・学会員倫理規定・研究倫理チェックリストを参考にして、作成してください。また、発表原稿送付時に大会ホームページにある学会発表用研究倫理チェックリストをダウンロードし、該当項目をチェックして学会ホームページに登録して下さい。

⑤発表者の資格、研究倫理、発表内容などについて、大会事務局から問い合わせをする場合がありますので、連絡先（メールアドレスなど）は必ずご記入ください。

【ポスター発表】

①所定の時間中にポスターを掲示し、かつ大会プログラムで指定された在席時間に質疑・討論に応じることで発表と認められます。在席時間に不在又は質疑・討論に応じない場合は発表取り消しとなります。

②会場にポスター掲示用ボードを用意します。そのボードに持参したポスターを各発表者が掲示し、時間が来たら撤去してください。掲示のための画鋏、セロハンテープは会場に用意します。

【口頭発表】

①発表時間は1題につき20分間です。15分間で発表を行い、残りの5分間は質疑・応答にあてられます。ただし、進行については座長に一任されます。

②使用できる機器はP Cプロジェクターです。ビデオ、その他の必要がある場合は、発表論文集原稿の提出時に、大会事務局にご相談ください。

3. 発表申込み方法

①申し込み期間：2013年5月20日（月）まで

②申し込み手続：筆頭発表者は学会ホームページから発表申込書をダウンロードし、必要事項を入力して学会ホームページに登録してください。

★発表演題・分類番号については、以下の番号からお選び下さい。

1：身体障害

2：精神障害

3：知的障害

4：高次脳機能障害

5：発達障害

6：その他の障害

7：障害種別なし

8：その他

③発表論文集原稿の送付期限は2013年7月8日（月）必着です。

④発表論文集原稿の作成は別紙の「発表原稿作成要領」に従って作成してください。原稿はA4版2ページとし、Word（Windows）で作成してください。Word ファイルを大会ホームページに登録してください。

⑤データを送信する前に、次の処理を行ってください。

・文中の図表は、例えば Word（Windows）で作成する場合は図（Windows 拡張ファイル）もしくは図（Windows メタファイル）形式で貼り付けてください。コピーして単に貼り付けた場合には、場合によっては元の図表とのリンクが作成され、原稿の図表が表示されない恐れもあります。

・写真をデジカメで撮影した場合には写真のデータ容量が設定により非常に大きくなります。デジカメで撮影した場合、あるいは引用等でサイズが大きい場合には必ず圧縮して原稿に貼り付けるようお願いいたします。

⑥発表に使用する機器等についても申し込み用紙にご記入ください。なお、発表者には、後日あらためて使用機器等の確認をさせていただきます。プレゼンテーションは Windows の機器で作成するようにお願いいたします。発表会場では、Windows のノートパソコン（XP、PowerPoint2007）のみご用意させていただきます。

《自主ワークショップの募集》

1. 資格

- ①自主ワークショップの企画者・司会者は、2013年5月10日（金）現在で日本職業リハビリテーション学会正会員の方に限ります。話題提供者等は非会員であっても差し支えありません。
- ②自主ワークショップの企画者は、自主ワークショップの申し込みを2013年5月20日（月）までに行ってください（詳しくは後述）。
- ③自主ワークショップの企画者・司会者となる会員は、2013年度年会費の納入を2013年5月10日（金）までに完了しておいてください（会費未納の場合は、大会での開催資格を失う可能性が生じます）。

2. 形式

- ①時間は全体で、2時間です。運営は企画者に一任されます。
- ②会場にはPCプロジェクターが設置されています。PCプロジェクターでのプレゼンテーションを予定されている方は、ご自身で、ノートPC等をご持参下さい。詳細は、大会事務局へご相談下さい。

3. 留意事項

自主ワークショップの企画の諾否を大会実行委員会で決定し、2013年5月31日（金）までに連絡させていただきます。

4. 申込み方法

- ①申し込み期間：2013年5月20日（月）まで
- ②申し込み手続：企画者は学会ホームページにある「自主ワークショップ申込書」をダウンロードし、必要事項を入力して学会ホームページに登録してください
- ③自主ワークショップの申し込みの際は、ワークショップの題目、趣旨を詳しくご記入ください。諾否は2013年5月31日（金）までに、ご連絡します。
- ④自主ワークショップのための原稿の登録期限は2013年6月30日（日）必着です。
- ⑤発表論文集に掲載される話題提供者の原稿は必ずしも「発表原稿作成要領」に従わなくても結構ですが、発表者1名につき1ページのみ（1400字程度）とし、文字のフォント、大きさ等を合わせていただけるとありがたく存じます。
- ⑥発表論文集に掲載する原稿は、Wordファイルで作成し学会ホームページに登録してください。
- ⑦データを送信する前に、次の処理を行ってください。
 - ・文中の図表は、例えばWord（Windows）で作成する場合は図（Windows拡張ファイル）もしくは図（Windowsメタファイル）形式で貼り付けてください。コピーして単に貼り付けた場合には、場合によっては元の図表とのリンクが作成され、原稿に表示されない恐れもあります。

・写真をデジカメで撮影した場合には写真のデータ容量が、カメラの設定によって非常に大きくなります。デジカメで撮影した場合、あるいは引用等でサイズが大きい場合には必ず圧縮して原稿に貼り付けるようにお願いいたします。

⑧自主分科会の話題提供者等は大会参加申し込みを必ずお願いします。

《諸手続きの締め切り期日および連絡予定》

2013年5月10日（金）研究発表予定者の学会入会締め切り

2013年5月20日（月）研究発表、自主ワークショップの申し込み期限

2013年5月31日（金）自主ワークショップの諾否連絡

2013年7月8日（月）研究発表原稿、自主ワークショップ資料登録期限

2013年8月9日（金）事前参加登録（前納）期限